

3. ほかの考え方はないかな？

まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

①半分も？半分しか？

プラス思考と、マイナス思考・・・・・・・・・・5

②一瞬でわかる試合数

考え方を変えたら、近道が見えるかも・・・・・・・・7

③トイレはスペイン語で、何？

「この目を見た」にも、落とし穴・・・・・・・・9

④犬と人、逃げているのはどちら？

2枚の絵から、判断すると・・・・・・・・11

⑤木の皮の半分は、北風を知らない

では、もう半分は？・・・・・・・・13

⑥「桃太郎」の話、鬼ヶ島から見ると・・・

反対側には、真逆の物語が・・・・・・・・15

⑦ノーベル賞受賞者には共通点があった！

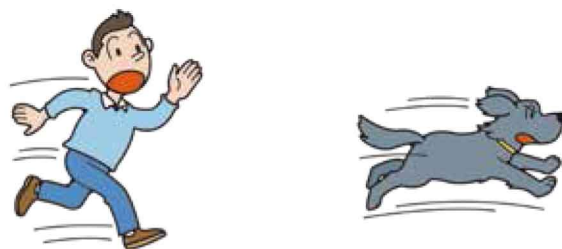
ウソではないが、だまされる・・・・・・・・17

⑧おみくじは、世界一短い見出しの記事

たった1文字で、判断するな・・・・・・・・19

⑨水草たちの油断

今しか見ないと、明日を誤る・・・・・・・・21



⑩“いだてん” 金栗四三選手のゴールイン

考え方次第で、素敵な世界に・・・・・・・・23

⑪飛び出すな 車は急に止まれない

“二枚看板”で考えよう・・・・・・・・25

⑫1万8千人以上

知れば、力が湧いてくる・・・・・・・・27

⑬会議のメンバーの肩書は・・・

ひっくり返せば、偏りが見える・・・・・・・・29

⑭デマを流すのは、どんな人？

「いい人」こそが、要注意・・・・・・・・31

⑮地震でライオンが逃げ出した!?

親切心から、ウソつきになる・・・・・・・・33

⑯上村踏切という名前のワケは？

批判の前こそ、よく確認を・・・・・・・・35

⑰トイレットペーパーがなくなる！

パニックが、はじまる前に・・・・・・・・37

3巻シリーズの終わりに・・・・・・・・39



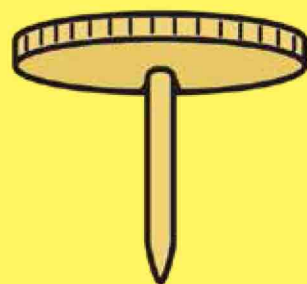
あなたは今、海岸で友達と2人で背中合わせに立っています。あなたは海の方を向いて、友達は陸の方を向いて。

「わたしは今、どこまでも広がる大きな海の目の前にいます」と、あなたは友達に言うでしょう。でも友達はあなたに、「わたしは今、目の前に松林、その向こうに家や遠くの山々が見える場所にいます」と言うでしょう。ぴったりと背中どうしをくっつけて、同じ地点に立っているのに、2人の居場所の説明はまったく違う言葉になります。

そのときに、相手の説明を聞いて、あなたと友達は「違う！ デタラメを言うな！」と言い争いますか。それとも、「へー、君からはそう見えるんだ」と、お互いの言葉を足し算してより豊かに受け止めますか。

この第3巻であなたが身につけるのは、そういう「自分以外の見方や考え方を受け入れる態度／理解する姿勢／想像する力」です。どうすれば、思い込みや決めつけという《壁》を壊して、もっと広い世界を見る《窓》を広げられるでしょうか？

右の絵で考えてみましょう。逆さに立った画鋲の絵です。中心の針の部分が下へ下へと刺さっていき、1つの点について自分で詳しく調べたりしてじっくり意味を考える「深読み」は、とても大切なことです。



けれどももう1つ大切なのが、この画鋲の上の円盤の部分です。深く掘り下げはじめる前に、まず広く見渡してみる。深読みの前に、「広読み」を試みる。そうやって窓を広げてからどこか1カ所を掘り下げていけば、あなたの理解は《広く・深く》にすることができるのです。

さあ、ページをめくって、「ほかの考え方」を探す探検隊の出発です！

① 半分も？ 半分しか？

プラス思考と、マイナス思考

あなたが飲んでいるグラスに残ったオレンジジュース。

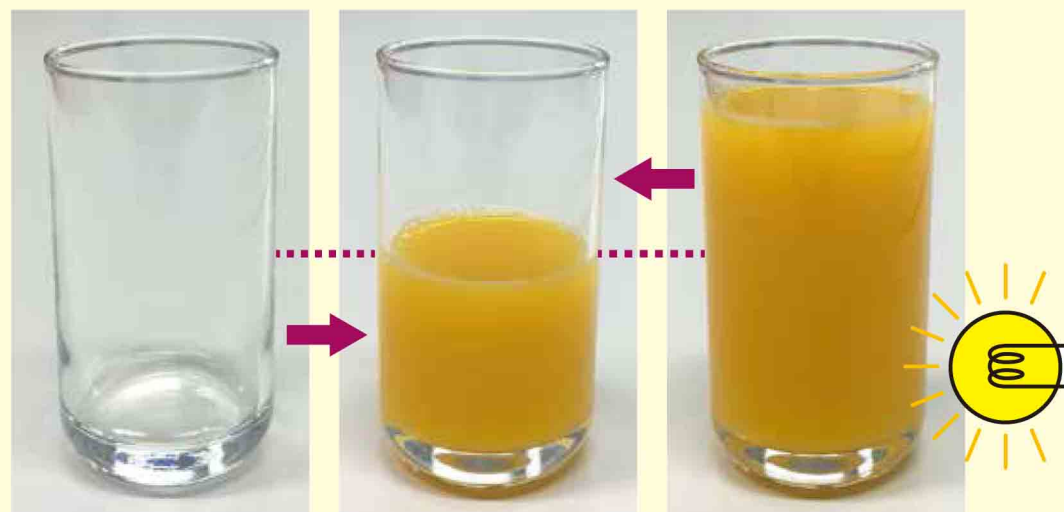


「もう半分しか残っていない」と考えると、ちょっと悲しい気持ちになってしまいますね。ほかの考え方は無いでしょうか？

考え方は1つとは限らない。^{かき}



「もう半分しか・・・」という考え方は、グラスいっぱいに入っていた写真右と^{ひかく}比較しています。では逆に、グラスが空っぽになった写真左と^{ひかく}比較したら、今の状態はどう見えますか。



「まだ半分も残っている」という明るい考え方に、変わりますよね。

「もう半分しか・・・」は、《無い》部分に注目したマイナス思考。

「まだ半分も・・・」は、《有る》部分に注目したプラス思考です。

ただし、いつでもプラス思考の方が明るくて良いとは限りません。たとえばこれがドライブ中の車のガソリンだったら、「まだ半分も・・・」と考えると油断するより、「もう半分しか・・・」と考えると早めに給油して備える方が安心ですね。

同じ物や出来事でも、ちょっと考え方を変えると、^{ちが}違った発見ができるのです。これから、さなざまな例を見ていきましょう。

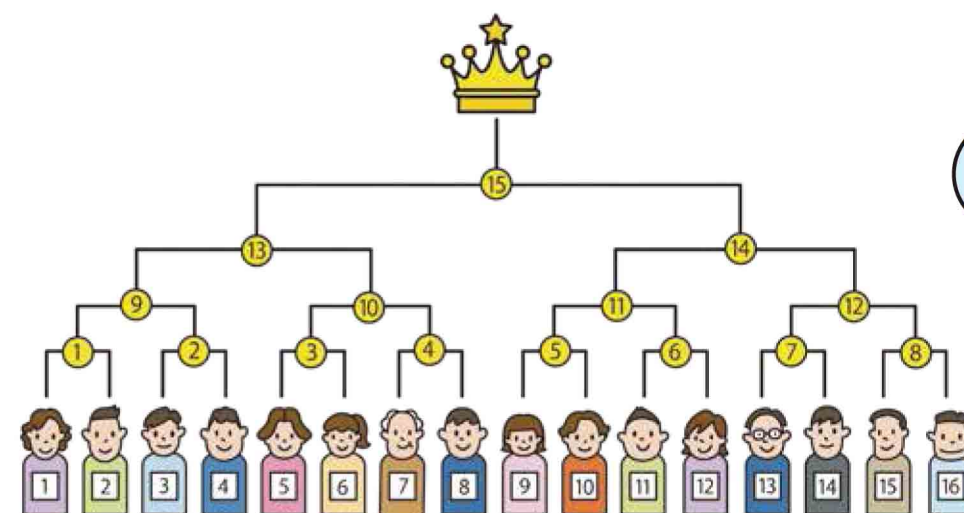
②一瞬でわかる試合数^{しゅん}

考え方を変えたら、近道が見えるかも

16 人が参加するジャンケン大会があります。この図のようなトーナメント方式で 1 人の優勝者が決まるまでに、何試合がおこなわれるでしょうか？（アイコの回数は数えず、勝負がつくまでを 1 試合として数えます。）

ある考え方をを使うと、たった 1 秒で答えられますよ！

・・・でもその前に、まずは普通に数えてみましょう。



上の図で①②③・・・の番号が、それぞれ第 1 試合、第 2 試合、第 3 試合・・・をあらわします。この通り、全部で 15 試合ですね。

では、こんな図をいちいち描かずに、そして「決勝戦が 1 試合、準決勝が 2 試合、準々決勝が 4 試合・・・」と足していくような計算も全くせず^{いっしゅん}に一瞬で「15 試合だ！」とわかる方法とは？